

結果と考察 令和2年度の鳥取県堅果類豊凶結果：概要

令和2年度の鳥取県内における堅果類4種の開花/結実の概要を示す。ブナは結実した個体もあったが、全体としては結実はずかで、「凶作」となった。ミズナラはほとんどの地点で結実がみられたものの、「並作下」であった。大山周辺では、ナラ枯れによる調査木の枯死が目立った。コナラはほとんどの地点で結実が少なく、「凶作」であった。クリは葉の傷みが目立ち少数結実の個体が多く「凶作」となった。コナラとクリの結実はこの10年で最も低い水準であった。堅果類4種のうち3種以上で「凶作」となったのもこの10年で初である。

表1 令和2年春の鳥取県内における堅果類4種の開花状況(開花量の5段階評価平均値)

R02春 開花状況	ブナ		ミズナラ		コナラ		クリ	
	地点数	平均値	地点数	平均値	地点数	平均値	地点数	平均値
全県集計	20	1.61	29	2.63	48	3.27	38	3.15
千代川以東	9	1.7	13	2.4	28	3.3	21	3.3
千代川以西, 東伯郡	6	1.5	6	2.4	9	3.3	6	3.1
西伯郡, 日野郡	5	1.6	10	3.0	11	3.1	11	3.0
全県開花判定(新基準)	並作下		並作上		並作下		並作下	

表2 令和2年秋の鳥取県内における堅果類4種の結実状況(結実量の5段階評価平均値)

R02秋 結実状況	ブナ		ミズナラ		コナラ		クリ	
	地点数	平均値	地点数	平均値	地点数	平均値	地点数	平均値
全県集計	25	1.22	32	1.70	48	1.65	51	2.23
千代川以東	13	1.2	15	1.7	28	1.7	25	2.2
千代川以西, 東伯郡	7	1.3	7	1.5	9	1.7	11	2.2
西伯郡, 日野郡	5	1.2	10	1.8	11	1.6	13	2.2
全県結実判定(新基準)	凶作		並作下		凶作		凶作	

表3 堅果類4種の鳥取県内全地点豊凶指数の年次変動

		ブナ		ミズナラ		コナラ		クリ	
		開花	結実	開花	結実	開花	結実	開花	結実
H23	2011	2.03	1.98	2.58	1.35	3.13	1.54	3.10	3.13
H24	2012	1.27	1.00	1.49	1.52	3.15	2.57	3.21	3.63
H25	2013	2.30	2.32	2.29	1.21	3.17	1.98	3.33	2.39
H26	2014	1.02	1.00	2.81	1.83	3.33	2.27	2.90	2.39
H27	2015	2.20	1.91	2.43	2.32	3.68	2.54	3.30	2.77
H28	2016	1.26	1.14	2.60	1.70	3.47	1.87	3.29	2.68
H29	2017	2.29	2.07	2.97	2.68	3.55	2.97	3.89	3.33
H30	2018	2.24	1.20	2.95	2.77	3.96	1.89	3.57	2.93
R01	2019	1.35	1.03	2.54	1.79	3.54	2.30	3.42	2.62
R02	2020	1.61	1.22	2.63	1.70	3.27	1.65	3.15	2.23